

特集

子供たちの教育を支援する地域の力

●土曜日を活用した教育支援の取組

～「学校支援ボランティア推進協議会事業」及び「放課後子供教室推進事業」の事例から～

平成14年度から完全学校週5日制となり13年が経過しました。

学校週5日制は、子供たちの家庭や地域社会での生活時間の比重を高めて、主体的に使える時間を増やし、「ゆとり」の中で生活体験や自然体験、社会体験、文化・スポーツ活動など様々な活動や経験をする機会を増やすために導入されました。

本制度が10年以上経過し定着する一方で、文部科学省「土曜授業に関する検討チーム」の検討結果において、「土曜日を必ずしも有意義に過ごせていない子供たちも少なからず存在する」との指摘をしています。

また、「平成25年度全国学力・学習状況調査」(保護者対象調査)では、土曜日の過ごし方として3割以上が学校での授業を望んでいるという結果が出ているほか、その他民間調査等において土曜授業の実施に高い支持も表れています。

このような背景の中、文部科学省としては、平成25年度に学校教育法施行規則の見直しにより、土曜日の授業(教育課程内)に取り組みやすくしたり、平成26年度から土曜日の教育活動に関する事業を新設して、地域の多様な経験や技能を持つ人材・企業などの協力により、土曜日の多様な教育活動を支援するための新たな条件整備を行っています。

東京都では、地域と連携した子供たちの多様な教育活動を支援するという観点から、平成19年度開始の「放課後子供教室」や、平成20年度開始の「学校支援ボランティア推進協議会事業」(学校支援地域本部)を実施しているところです。

現在、都内では、「授業支援」「補習教室」「自然体験」「文化・スポーツの体験教室」など地域の実情に応じた様々な教育支援活動が展開されています。

その活動の多くは、平日に行われていますが、中には土曜日を活用して土曜ならではのプログラムを展開するなどそれぞれの地域の特色に応じた活動も見られるようになりました。

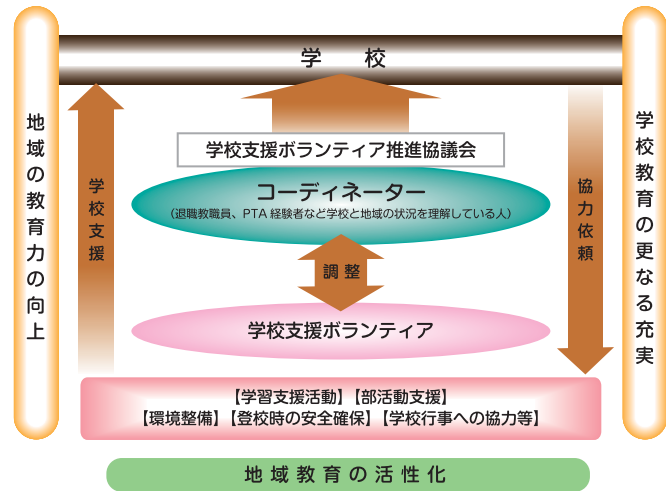
そこで、今回は、「学校支援ボランティア推進協議会事業」や「放課後子供教室推進事業」の様々な取組の中から、土曜日を活用した事例を御紹介します。

	学校支援ボランティア推進協議会事業 (国名称:学校支援地域本部)	放課後子供教室推進事業																																												
趣旨	国の「学校支援地域本部」事業を活用し、区市町村において、学校と地域が連携して、地域住民や保護者等がボランティアとして学校教育支援を行い、地域全体で子供の教育活動を支えていく取組です。	区市町村を実施主体として、放課後や週末等に、地域に安全・安心な子供の活動拠点「放課後子供教室」を設け、地域の人々の参画を得て、子供たちに学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続的に提供していく取組です。																																												
実績	<table border="1"> <caption>学校支援地域本部実施数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>小学校数</th> <th>中学校数</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成20年度</td> <td>188</td> <td>81</td> <td>269</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>228</td> <td>118</td> <td>346</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>366</td> <td>155</td> <td>521</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>466</td> <td>207</td> <td>673</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>497</td> <td>220</td> <td>717</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>543</td> <td>245</td> <td>788</td> </tr> </tbody> </table>	年度	小学校数	中学校数	合計	平成20年度	188	81	269	平成21年度	228	118	346	平成22年度	366	155	521	平成23年度	466	207	673	平成24年度	497	220	717	平成25年度	543	245	788	<table border="1"> <caption>放課後子供教室実施数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>教室数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成19年度</td> <td>475</td> </tr> <tr> <td>平成20年度</td> <td>713</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>883</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>958</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>1,009</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>1,049</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>1,101</td> </tr> </tbody> </table>	年度	教室数	平成19年度	475	平成20年度	713	平成21年度	883	平成22年度	958	平成23年度	1,009	平成24年度	1,049	平成25年度	1,101
年度	小学校数	中学校数	合計																																											
平成20年度	188	81	269																																											
平成21年度	228	118	346																																											
平成22年度	366	155	521																																											
平成23年度	466	207	673																																											
平成24年度	497	220	717																																											
平成25年度	543	245	788																																											
年度	教室数																																													
平成19年度	475																																													
平成20年度	713																																													
平成21年度	883																																													
平成22年度	958																																													
平成23年度	1,009																																													
平成24年度	1,049																																													
平成25年度	1,101																																													

学校支援ボランティア推進協議会事業について

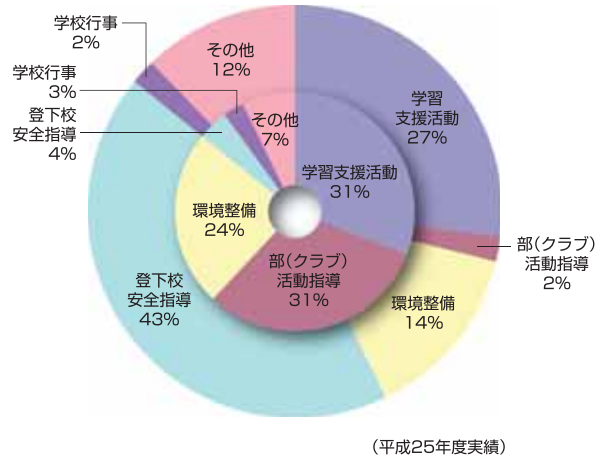
事業の仕組み

学校とボランティア間の連絡調整等、学校支援事業の中核を担う「コーディネーター」を配置し、どのような支援を行っていくかといった方針や企画の立案等を行いながら、様々な「学校支援ボランティア」の協力を得て、学校支援活動を効果的に進めていく仕組みです。



ボランティアの活動内容

(外側:小学校、内側:中学校)



放課後子供教室推進事業について

地域住民等の参画により、放課後や週末等に、子供たちに学習や様々な体験・交流活動の機会を提供



子供たちの安心安全な活動拠点を確保し、様々な学びを支援するだけでなく、地域住民の生涯学習・自己実現に資するとともに、活動を通じて地域のつながり・絆を強化し、地域の教育力の向上を図る

放課後子供教室の運営を支えるスタッフは、教室運営の総合調整役のコーディネーター、子供たちの活動を見守る教育活動サポーター(安全管理員)、学習活動のほか様々な体験・交流活動を推進する教育活動推進員(学習アドバイザー)の三者です。その大半は、地域住民の参加協力により担われています。